



見附市立見附小学校 学校だより

「自ら学び 進んで鍛え 共に伸びる見小の子」

みしよ

No. 347

令和6年4月5日（金）発行

〒954-0052

見附市学校町1丁目3番89号

Tel 0258 (62) 0141

<https://www.city.mitsuke.niigata.jp/site/misho/>



床を磨いて心を磨く6年生



「じぶんのはなまるさがしてね」

あなた自身が未来です

校長 後藤 正美

未だ来ないものを人は待ちながら創っていく
誰もきみに未来を贈ることはできない
何故ならきみが未来だから

これは、詩人の谷川俊太郎さんが作詞をした合唱曲「未来へ」の一部です。この詩を基に、始業式では次のような話をしました。

今年度は87名の1年生、他の学校から転入してきた友達も合わせて、見小っ子は512名です。温かな春の日に、こうして皆さんの表情を見ることができて嬉しいです。

今年151年目を迎える見小のリーダーは「みらい学年」です。「みらい」を漢字で書くと、「未来」と書きます。これは「未だ来ていない」「これから来る」という意味です。まだ来ていない先のことから、誰も未来はプレゼントできません。でも、未来は創っていただけます。なぜなら皆さん自身が未来だからです。6年生が、3月の卒業式までに見小のどんな未来をつくっていくのか、考えるとワクワクします。先生方と一緒に、見小の未来への一歩を創っていきましょうね。

では、全校の皆さんは何を頑張ればよいのでしょうか。成長するために、2つの力をつけてほしいです。

1つ目は、「折り合いをつける力」です。150周年のキャラクター2つが投票で同数になったとき、何度も話しあって1つにまとめましたね。何か困ったことが起きたときには、相手との折り合いを考え、しっかりと話し合う経験を積んでください。

2つ目は、「自分のよさを磨く力」です。周りばかり気にするのではなく、自分のいいところを見つけてとことん磨きましょう。運動・勉強・心の優しさ・朗らかさなど、皆さんは「自分のよさ」を一人一人がしっかりと持っているのです。

見附小学校にも新しい春が訪れ、令和6年度がスタートしました。どの子にとっても居場所のある教室をつくるため、子供たちの喜びのために今年度も日々研鑽して参ります。保護者・地域の皆様と共に喜び合える1年にするため、引き続き温かなサポートをお願いいたします。